

### 3.16.2 国際推進部門 国際連携推進室

室長 小山泰弘 ほか4名

#### 研究開発環境のグローバル化を推進

##### 【概要】

NICTの国際競争力を強化するためには、海外の優れた研究機関等との連携・協力を積極的に推進し、国際的に開かれた環境にて研究開発を実施する「研究開発環境のグローバル化」が重要である。

国際連携推進室では、NICTが海外の研究機関等との協力関係を構築し、さらには研究交流及び研究連携が促進されるよう、これら研究機関等との研究協力覚書の締結に積極的に取り組むとともに、この覚書を基礎とした国際共同研究、研究者やインターンシップ研修員の受け入れ、ワークショップ等の研究集会の開催等の施策を推進している。また、NICTの研究活動の認知度を向上するための国際広報活動を行うとともに、NICTの研究開発に資する海外の研究開発動向についての情報収集・調査分析を、海外連携センターを最大限に活用して行っている。

##### 【平成25年度の成果】

#### (1) 国際連携活動の推進

##### ① 研究協力覚書の締結

情報通信分野における研究開発を実施している大学や研究機関を中心に新たに国外17機関との間で研究協力覚書(MOU)を締結した(7.3参照)。中でも、米国国立科学財団(NSF)は米国における基礎科学研究を支援している中枢機関であり、新たなMOUの締結によって新世代ネットワーク研究における日米共同研究の実施につながった。また、既に締結されているMOUを更新し、平成25年度末現在で有効なMOUは24カ国77機関となった。MOU締結機関の間では、セミナーやフォーラムなどの研究集会を共同で開催し、情報交換・人材交流を図ることによって具体的な研究連携へと発展させている。

さらに、平成25年度においては、平成24年度に引き続き、東南アジア諸国との国際連携を重視し、ミャンマー国ヤンゴン工科大学(YTU)、同ヤンゴンコンピュータ大学(UCSY)、フィリピン国マプア工科大学(MIT)、インドネシア通信情報省(MCIT)(図1)等と新たにMOUを締結したほか、初の試みとして、タイ国バンコクにおいて東南アジア諸国のMOU締結機関が一堂に会した研究集会(International Roundtable on ICT R&D Collaboration in the ASEAN Region)(図2)を開催して国際共同研究の推進に積極的に取り組んだ。

加えて、今後我が国からのICT分野における協力が期待されるインド及びフィリピン国について、総務省主催による「ICT官民合同ミッション(平成25年10月3・4日 於ニューデリー、平成26年1月13・14日 於マニラ)」に参加し、NICTの研究概要を紹介するとともに具体的な研究連携の提案を行った(図3)。その結果、インド国の研究機関とは多言語翻訳の分野での研究連携を図るほか、フィリピン国の大学とも耐災害ICT技術等で連携を図る予定である。



図1 MCITとの研究協力協定の調印  
(平成25年10月17日)



図2 東南アジア研究機関との研究集会  
を開催(平成25年11月20日)



図3 ICT官民合同ミッションにおいて  
NICTの概要等を紹介  
(平成26年1月14日)

## ② 人材交流

平成 25 年度においては MOU を締結している中国、韓国、タイ、シンガポール、ニュージーランド、米国、ポルトガル、フランス、イタリアの 9 カ国 14 機関から 19 名のインターンシップ研修員を受け入れた。また、外国人研究者が研究活動を行う上での支援策として専門の日本語講師による日本語研修の実施や、職員への周知文書の英語化を進めた。

## ③ 研究交流集会の開催・国際広報活動の推進

MOU を締結している機関との具体的な連携の一環として、シンガポール、台湾、ニュージーランド及び米国の研究機関等との研究交流集会を開催するとともに(表 1、図 4、5)、研究所等と連携し、ITU 世界テレコム 2013 といった大規模な国際展示会に先端的な研究開発成果を出展し、効果的・効率的な国際広報活動を実施した。また、広報部と連携し、プレスリリース資料の英語化にも取り組んだ。

表 1 MOU などに基づき開催した国際研究集会

NICT-I2R Joint Workshop 2012	(平成25年 7月 3日 大阪)
NICT-Unitec Workshop	(平成25年 7月 8日 東京)
NICT-III Workshop	(平成25年 8月20日 東京)
U-STAR Workshop in Europe, Interspeech 2013	(平成25年 8月27日 フランス・リヨン)
NICT-ITRI Joint Workshop	(平成25年10月31日 台湾・新竹)
The 2 <sup>nd</sup> KISTI-NICT Joint Workshop	(平成25年11月18日 東京)
International Roundtable on ICT R&D Collaboration in the ASEAN Region	(平成25年11月20日 タイ・バンコク)
U-STAR Workshop in Asia, Oriental Cocosda2013	(平成25年11月24日 インド・グルガオン)
第 10 回日米 ICT R&D フォーラム	(平成26年 1月24日 米国・ワシントン DC)
The 2 <sup>nd</sup> NICT-SIMIT Joint Workshop	(平成26年 3月 4日 神戸)



図 4 NICT-ITRI(台湾) Joint Workshop



図 5 第 10 回日米 ICT R&amp;D フォーラム

## (2) 海外連携センターにおける情報収集と情報発信

パリ、ワシントン DC 及びバンコクに位置するそれぞれの海外連携センターにおいて、現地であれば収集が困難な最新情報を現地新聞や各種メディアから収集・分析するとともに、周辺国も含め関係機関へのヒアリング調査等を行った。具体的には、平成 25 年度においては表 2 に示す 6 件の調査報告書を取りまとめ、公表するとともに、トピックスや定期報告については、メールや NICT 内 Web ページへ掲示することにより、関係の研究者へいち早く情報提供を行った。

表 2 海外連携センターで実施した動向調査の調査報告書

欧州・旧ソ連・アフリカにおける言語翻訳技術の研究開発等の動向調査(平成 25 年 7 月)
欧州におけるテラヘルツ技術の研究開発の動向調査(平成 25 年 11 月)
米国における重要インフラのサイバーセキュリティ確保に関する検討状況の調査(平成 25 年 12 月)
米国における TV ホワイトスペースの制度化及び規格化の状況の調査(平成 26 年 2 月)
パーソナルデータ利活用時の暗号・情報セキュリティ技術活用の欧州のガイドライン・法制度・標準化動向に関する調査(平成 26 年 2 月)
米国におけるビッグデータ及びパーソナルデータ情報通信技術分野等の研究開発動向等の調査(平成 26 年 2 月)